

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	12	認知症の正しい理解や、専門職としての関わり方などの学びを、日々の支援にうまく繋げることができない場面がある。その人らしい生活を支援することに上手繋げていきたい。	入居者の思いやニーズに寄り添い、一人ひとりが残された能力を意欲的に活用し、役割や生き生きと生きる自信、生活の継続に繋がる支援に取り組む。また、生きるための目標、生きがいにつなげる支援計画の作成を目指す。	うれしさ、喜び、心地よさなど快の感情の表出に着目し、ポジティブな心理状態の継続を図り生活の質の向上に向けたアセスメント力を高めるための研修に力を入れていく。また、その人らしさに合わせた関わり方など認知症への専門性を高めるような研修や話し合いの場を毎月の定例会議で実施していく。	6ヶ月
2	27		ご家族との信頼関係や協力関係をより一層大切にし、安心感を与えられるような関わりを目指す。	口頭だけでなく、ご家族からのご意見、ご要望は必ず記録に残し、いつでも内容や対応が確認できるようにしておく。また、ご家族とのコミュニケーションの中で得た情報をサービスに反映させ、入居者のニーズを叶たり、サービスの質の向上に繋げていくように努める。	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。